



# 市政モニターからの提言 ④

市民からのお便り

先頃のサミットにて非難された税金の使用法、高知国体では反省を生かし大いに盛り上げていただきたい。

## 中山間地域問題

平成12年度から「中山間地域等直接支払制」が開始されることもあり、市政モニター「中山間地域活性化」についてアンケート調査を実施したところ多くのご提言やご意見をいただきました。その内容について、市の方針ともどもお知らせします。

南国市の総面積の約半分を占める上倉・瓶岩地区は、生産性があがらない条件不利地です。人口は、核家族化、平坦部への転出などにより年々減少し、高齢化などにより維持管理ができず荒廃する森林・農地が増加しています。中山間地域の問題をその地域だけの問題としてとらえられると高齢化が進み、人が少ない中山間地域でできることはごくわずかです。これまで、市は関係機関・地元と協力し、様々な事業や活動を実施してきましたが、まだまだ問題の解決には至っておりません。

## アンケートのまとめ

### ■これまでの中山間地域について

- ▶行ったことのない方が30%いますが、逆に居住している方も含め年に1回以上行く方も70%います。
- ▶目的としては、風景や景観を楽しんだり、キャンプ・ハイキング・ドライブをしたり、何となくのんびり過ごす方が多いようです。
- ▶中山間の現状は頑張っている(63%)、それだけでも魅力がある(61%)と見ている方が多いようです。

### ■中山間地域の役割は？

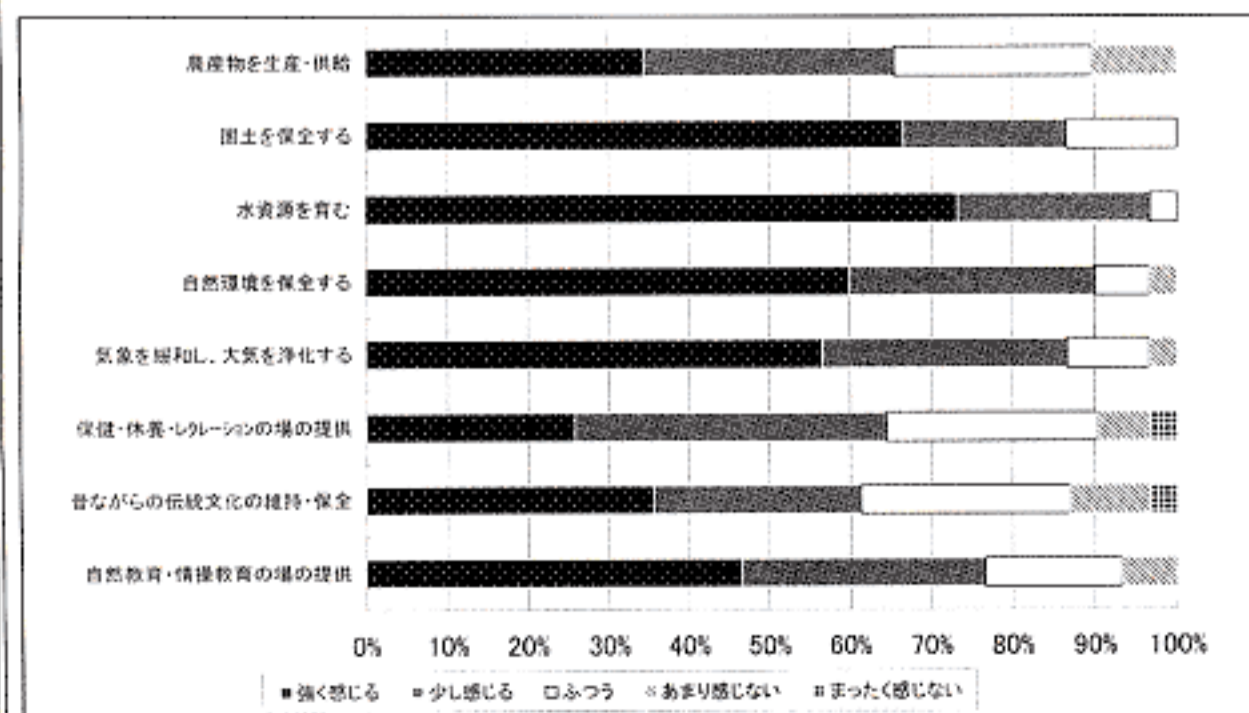
- ▶中山間地域の役割は、水源のかん養、自然環境の保全を中心に、大気浄化、国土の保全、自然教育・情操教育の場と考えられています(下図)。
- ▶中山間地域の荒廃は、洪水大災害(36%)、水・空気などの自然環境の悪化(36%)、水枯れ(17%)が問題視されています。

### ■中山間地域への支援の必要性

- ▶中山間地域を支援する必要ありとする方は70%を越えています。
- ▶期待する支援としては、森林・農地の環境や地域資源の維持確保を中心とし、交流などの拠点施設整備への支援も求められています。

### ■中山間地域の活性化のためには何が必要か？

- ▶中山間地域の活性化のためには、平野地域との相互理解を深め、自然環境を保全しながら、交流人口やU・I・Jターン者を増加させ、特産品や農林業の振興を図ることが重要と考えられています。
- ▶中山間地域の活かすべき資源としては、豊かな自然(33%)と清浄な水(21%)、地域特産品(21%)であり、それらを利用し、水源のかん養する場(42%)として、子どもたちの環境教育(42%)を行い、豊かな自然にふれるレクリエーションの場(39%)として発信していく方策が求められています。
- ▶中山間地域へ滞在してみたいと思っている方は88%で、自然環境学習(35%)を中心とし、ハイキング・散策(29%)、森林浴(26%)などで過ごすことへの興味が示されています。



市政モニター制度は、南国市総合計画に基づき「市民が主役で参画するまちづくり」を進めるために、昨年度から始まりました。

### ■相互理解・相互協力を強め、多様で、深い交流連携を！

中山間地域の多面的な機能の重要性も一定理解され、「支援を必要とする方」も70%を越えています。アンケートの結果からも、これまで中山間地域と他地域とは、まだまだ限られた方の交流であり、連携にとどまっていることが伺えます。

今後の活動として、まず中山間地域と他地域との相互理解・相互協力を強め、多様な深い交流連携をきずく必要があります。

### ■具体的な活性化の方針

今後の南国市の方針として、道路・住環境の整備、自然環境の保全はもちろんですが、中山間地域自体としても、地域資源を見直し、多様な機能と魅力を発信し、交流人口などの増加につとめる必要があります。それは、中山間地域の自然環境を南国市全体の財産として、水・自然環境保全の恩恵の再認識を他地域へも

広げ、水・自然環境のきずなをもとにした多様な関わりと支援を進めるものです。

具体的に、南国市では、平成12年度から始まる中山間地域等直接支払制度に取り組み、森林・農地の環境や地域資源の維持確保を図りながら、今まで行ってきた特産品や農林業などの地場産業の振興をより発展させていく活動を進めます。併せて、水源のかん養、自然環境の保全を中心として、相互理解・相互協力を強めます。そのため、大気の浄化、国土の保全、自然教育・情操教育の場として、自然環境学習や豊かな自然にふれるレクレーションもできる場の整備や活動を促進し、交流人口などを増加させ、交流連携を深めます。特に最も広い面積をもちながら最も少ない人口である黒滝地区については、自然環境保全の面からも、早急な対策を図っています。

※お問い合わせは、農林課 農林振興係 (☎88016559) まで

## 第52回全国人権・同和教育研究大会

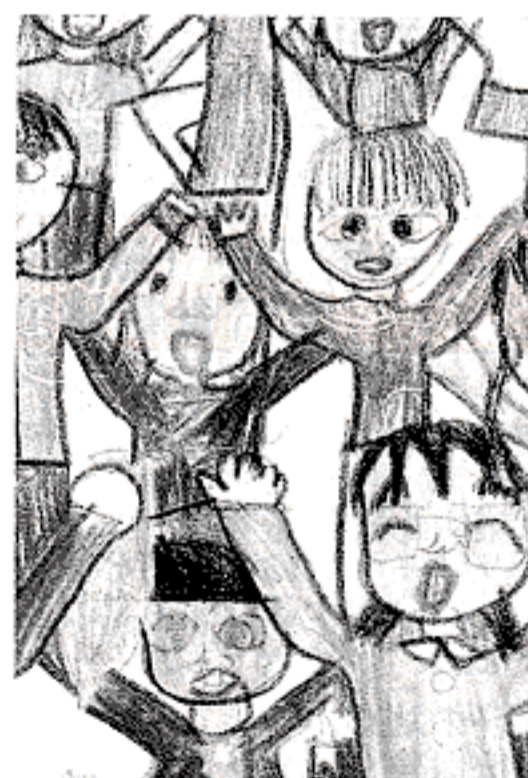
2000年11月25日(土)・26日(日)・27日(月)

# 今ひらく人間解放の世紀

～人権文化の創造を黒潮にのせて～

人権と輝く未来へ⑦

人権・同和教育シリーズ



第52回全国人権・同和教育研究大会(高知大会)が、11月25日(土)・27日(月)、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を創造しよう!」をスローガンに、春野町・高知市・南国市で開かれます。

この大会は、現在行われている人権・同和教育の取り組みを出しあい、研究、協議することにより、これからの人権・同和教育の方向、内容などを造りあげていくために毎年行なわれているものです。

「21世紀は人権の世紀」といわれ、すべての人の命、環境を守り、平和で安定した社会をつくり出していくことが、私たちに求められています。

20世紀最後のこの大会に、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

市民からのお便り

南国市に転入して数か月で当選するなんて幸運です。広報で名前を見た時、改めて「市民であること」を実感しました。ありがとうございます。